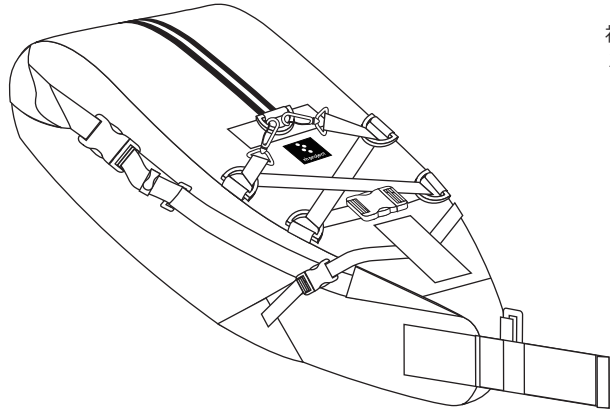


## 取扱説明書

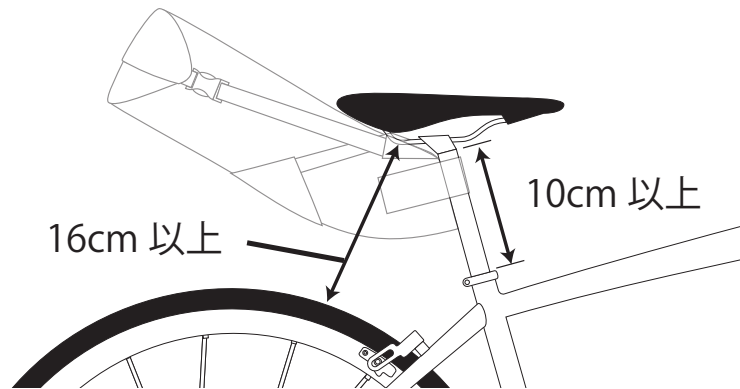
初版発行：2017.10.12  
2版発行：2018.03.01



本書を熟読頂き、製品の特性をご理解頂いた上でご利用下さい。



### 取り付け可能サイズ



#### 注意

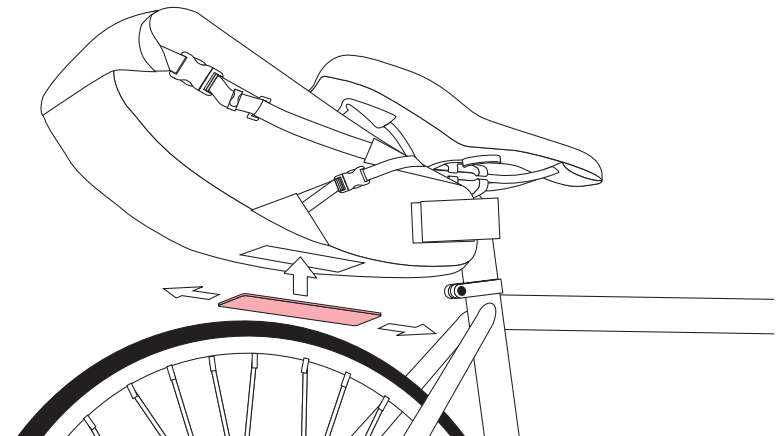
取り付け可能サイズに満たない場合は、バッグがタイヤと接触し、摩擦で穴が開く場合がございますのでご利用いただけません。

### 使用上の注意

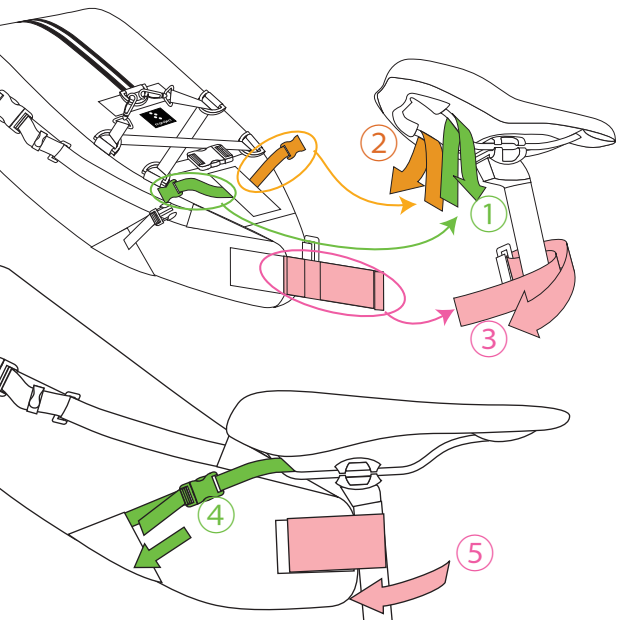
- 各部ストラップはしっかりと締め込み、緩みがないことをご確認の上でご利用下さい。
- 特に収納物が多い場合は、バッグの奥（先端部分）から隙間無く収納した上で、最後まで口元を巻き取った上、圧縮ストラップをしっかりと締めてご利用下さい。バッグ内容物同士に隙間があったり、圧縮不足の場合は取り付け可能サイズを満たしている自転車の場合でもバッグ上部（口元付近）とタイヤが接触し、穴が開く原因となります。
- 路面からの振動によりストラップが緩む可能性もございます。長距離走行中の場合は数時間ごとに緩みがないか確認してください。
- 本製品はPVC加工した生地を使用しておりますが完全防水ではございません。
- 悪路走行時は振動でストラップが緩んだり、バッグが上下に揺れる場合がございますので、タイヤとの接触到、特にご注意ください。

### タイヤプロテクター

万が一タイヤが接触した場合にバッグの底面を守ります。面ファスナー（マジックテープ）で装着されていますので、タイヤの位置に合わせて位置を前後させてください。



## 自転車への取り付け方法



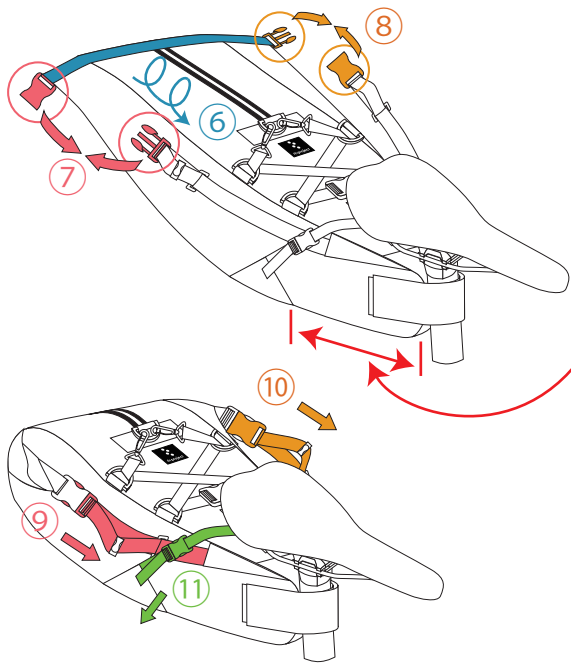
①② サドルのレールに  
ストラップを通します。

③シートポストにストラップを  
取り付けます

④バックルを閉じ  
ストラップを締めます  
(反対側も同様に行います)

⑤シートポストのストラップを  
締め、バッグを密着させます。

## 荷物の入れ方と、トラベルサドルバッグの閉じ方



⑥ バッグを圧縮するように、  
口元をしっかりと巻き、

⑦⑧ 左右のバックルを閉じます。

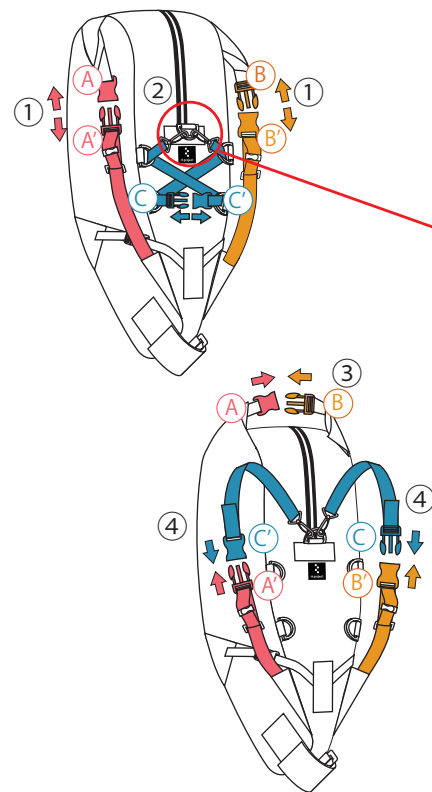
バッグの先端部分に替えチューブや  
輪行袋などを隙間無く詰め、形状を  
安定させると、走行中にバッグと  
タイヤの接触を防ぐことができます。

⑨⑩ 圧縮ストラップを引き、  
バッグをしっかり圧縮します。

⑪ストラップ (反対側も) の  
緩みが無いことを確認して完成。

## リュックサックとしての利用方法

輪行時にトラベルサドルバッグを両肩で背負って移動できます



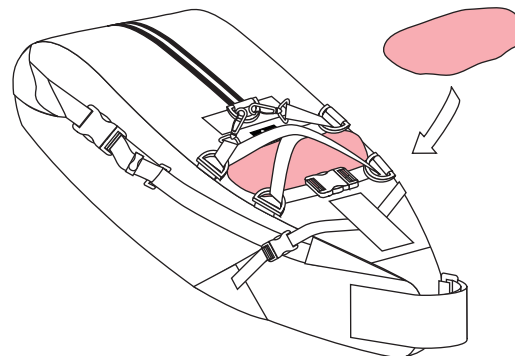
① 圧縮ストラップから左右のバックルを  
外します。図 (A - A' ), (B - B' )

② 肩ストラップのバックル (C - C' ) を外し  
赤丸部分のプラフックを残して抜き取ります。

③ 口元のバックル (A - B) を閉じます。

④ 肩ストラップと圧縮ストラップを  
つなげて (C' - A' )、(C' - B' ) 完成です。

## 肩ストラップの活用法



走行中は肩ストラップを  
利用して、ウィンドブレーカーや  
濡れたポンチョやレインスーツ  
等をバッグ上部に固定できます。